

HCニューズレター

Human Care News Letter

No.14

2013年2月 日本ヒューマン・ケア心理学会

ケアする人のケアを考える

日本ヒューマン・ケア心理学会第14回大会は、会参加者は115名(会員、非会員40名)を得て、2012年7月15日と16日の2日間、筑波大学東京キャンパス文京校舎において開催されました。本大会では、昨年の東日本大震災とそれに引き続く福島原発事故などから、被災者のみならずそのケア提供者自身もまた被災者であったりすることを踏まえて、ケア行為の相対性という視点から「ケアする人のケアを考える」をテーマとしました。

初日の学術集会のシンポジウムでは、大会事務局長(中村恵子先生)の司会のもと、大会テーマ「つながりあう「ケア」のうち「ケア」の相補性―人が支援し、支援される構造―というテーマを巡って、伊藤尚子先生(日本赤十字看護大学)からは災害看護学の立場、志賀令明先生(福島県立医科大学看護学部)からはご自身が被災者でありながらケア提供者であるという立場、高田薫先生(元航空会社勤務)からはご自身ががん治療中の立場でありながら同時に家族の闘病によりケアする立場でもあるということも踏まえて、それぞれ本テーマについて話題提供と討論を掘り下げていただきました。指定討論者として松井豊先生(筑波大学大学院人間総合科学研究科)からは災害ストレスおよび悲嘆研究の観点からの質疑とコメントをいただきました。さらに、研究発表の部門では、口頭発表13件、ポスター発表37件の合計50件の発表があり、その内容は、病気と健康の問題、ストレス、ポジティブ心理学的介入、大人と子ども、産業・児童養護・教育場面など、本学会らしい多領域の多彩な方法論による研究が発表されました。また、本大会では、東海林渉先生(東北大学)による口頭発表「食事療法における糖尿病患者と配偶者の取り組みに関



新しい筑波大学大塚校舎(大会会場)

日本ヒューマン・ケア心理学会第14回大会を終えて

筑波大学人間総合科学研究科 小玉正博

する定性的研究、石村郁夫先生(東京成徳大学)によるポスター発表「自己への思いやりの態度がうつ症状を軽減させる効果に関する研究」がそれぞれ優秀発表賞として表彰されました。

2日目午前の研修会では、堀越勝先生(国立精神・神経医療研究センター・認知行動療法センター)による「認知行動療法の最新線」という題名でご講義いただき、50名の参加者からは大変好評を得ました。また、午後の大会講演では、参加者120名(うち一般参加者69名)を前に、ノンフィクション作家の柳田邦男先生から「物語を生きる―人間とケアの意味―というテーマでご講演をいただきました。とりわけ、福島原発事故調査委員としてお立場からの貴重なご報告には参加者一同深い感銘を受けました。2日間とも天気に恵まれ、成功裏に終えることが出来ましたが、これもひとえに、会員の皆様の絶大なご協力の賜と心より感謝申し上げます。

お知らせ

本学の研修委員会では、看護学や心理学領域をはじめとする各種認定資格等の研修ポイントも検討中です。会員の皆様方におかれましては、ふるってご参加ください。

(研修担当 長田久雄)

日本ヒューマン・ケア心理学会 第15回大会のお知らせ 〈死別後もつづく絆〉

日程：2013年7月6日(土)・7日(日)

会場：聖路加看護大学

大会テーマ：「死別後もつづく絆」

会長講演 堀内成子(聖路加看護大学 教授・聖路加産科クリニック 副所長)

教育講演 Nigel P. Field(Pacific Graduate School of Psychology)

「Continuing Bonds in Bereavement: An Attachment Theory Based Perspective」

特別講演 細谷亮太(聖路加国際病院 小児総合医療センター長)

「愛しい人を失ったとき」

研修会 麻原きよみ(聖路加看護大学地域看護学 教授)

「エスノグラフィ―データ収集および分析方法の実際」

プログラムは、一般口演・ポスター発表のほか、セルフヘルプグループとの交流セッションの企画をしています。

今後のスケジュール

1. 演題申込み(抄録原稿提出締切) 締切 2013年5月7日(水)

2. 事前参加申込 締切 2013年6月20日(金)

事務連絡先

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学

「日本ヒューマン・ケア心理学会」学術集第15回大会事務局

電話・FAX 03-5565-1626(大学代表)

大会専用アドレス jhc15@slcn.ac.jp

大会HP <http://www.jhc15.jp/>

※原則として連絡は専用メールアドレスをお願いいたします。

メールを使用できる環境がない場合のみ、FAXをお使いください。

第15回大会準備委員会委員長：堀内成子(聖路加看護大学 教授、
聖路加産科クリニック 副所長)

「ヒューマン・ケア研究」投稿論文募集

執筆要領が新しくなりました。HPにも、また機関誌13-12にも掲載いたしましたように、執筆要領が改訂されました。とくにご注意ください。①論文の種類として、短報(Short Report)が追加されたこと(英文アブストラクトは不要、お気軽にご投稿ください)②英文アブストラクトについて校閲の証明書を提出すること(Homepageからダウンロードできます)の2点です。どうぞご注意ください。(編集担当 遠藤公久)

Web担当からのお知らせ

現在、会員向けに限定したサービスとして「ヒューマン・ケア研究」に掲載されている原著論文(2000-2011 No.1)がWebからダウンロードできるようになっております。ご利用の際には以下のIDとパスワードを入力する必要があります。なお、パスワードは、会員以外にはお知らせにならないで下さい。

ID: HCKAin2013 パスワード: RYJZUQF

なおこのID及びパスワードは、2013年4月1日より有効となります。それまでは前年度のID及びパスワードをお使い下さい。(Web担当 岩崎祥一)

広報委員会からのお知らせ

昨年6月より本学会の広報メールの運用を開始しております。自著紹介や研究会のお知らせなど、会員への情報配信のご希望の際は、feedback@jhc.jp(広報メール事務局)あてに、タイトルを「メール配信希望」として、記事のタイトルと本文をお送りください。現在までの発行が僅か1号といささか寂しい状況です。奮ってご活用をお願いいたします。また、メールが届いていない方、メールアドレスが変更となられた方も、右記アドレスまで一報ください。

なおこのアドレスは広報用となります。入退会・住所変更・会費についてのお問い合わせ等、学会事務に掛かる事項は、従来通り学会事務局での取扱いになりますのでご注意ください。(広報担当 安保英勇)

編集後記

今年度は記念すべき第15回大会です。第1回目の開催校であった聖路加看護大学に戻ります。会員の皆様には1号通信が、すでにお手元に届いたかと思えます。外国人講師の招聘をはじめとして、魅力あふれる新しい企画がいっぱいです。会員の皆様方におかれましては、ぜひともご参加・ご発表くださいますよう、お願い申し上げます。(広報担当 廣瀬清人)

●学会へのお問い合わせ(学会事務局)、学会誌投稿等のお問い合わせ(学会誌編集事務局)は、それぞれ次のとおりです。

- 学会事務局
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部
清水研究室 日本ヒューマン・ケア心理学会事務局
humanpsy@med.kagawa-u.ac.jp TEL&FAX/087-861-2240
- 学会誌編集事務局
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-13 日本赤十字看護大学看護学部
遠藤研究室 日本ヒューマン・ケア心理学会編集事務局
humancarepsy@redcross.ac.jp TEL&FAX/03-3409-0614